

学力調査結果について

教育指導課指導係 ☎0824-73-1184

本年度実施した、全国学力・学習状況調査および広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果は次のとおりでした。2つの学力調査の結果を受けて、庄原市の児童生徒の学力や学習の状況をお伝えします。

全国学力・学習状況調査の結果

文部科学省が行う、全国学力・学習状況調査が4月に実施され、小学6年生と中学3年生が参加しました。

表1 各教科の平均正答率

〔小学6年生〕 (%)

教科	庄原市	広島県	全国
国語	68	66	63.8
算数	69	68	66.6

〔中学3年生〕 (%)

教科	庄原市	広島県	全国
国語	76	74	72.8
数学	61	60	59.8
英語	57	56	56.0

※全国平均正答率以外は整数値で公表

表1のとおり、全国学力・学習状況調査では、すべての教科で平均正答率が全国平均、県平均を上回っています。

それぞれの教科に共通した課題として、与えられた資料を組み合わせて表現する、事象について説明する、対話場面をもとにして自分の考えを記述するといった表現する力、とりわけ「書く力」に課題が見られました。

各校では、児童生徒により一層の学力をつけるため、自分の考えを表現する「書く力」の育成、生活場面などに関連を図った指導、読解力の育成など、さらなる取り組みの充実を行います。



広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果

広島県教育委員会が行う、広島県「基礎・基本」定着状況調査における児童生徒質問紙調査が6月に実施され、小学5年生と中学2年生が参加しました。なお、昨年度に続き、教科の調査は行われませんでした。

図1 家庭学習

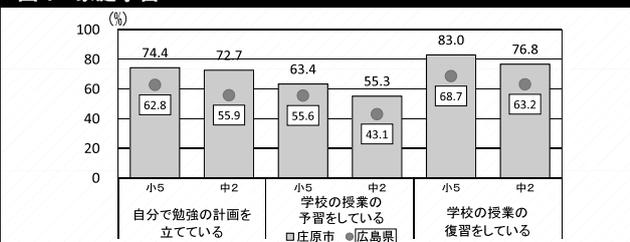


図2 平日の家庭学習1時間以上の児童生徒の割合の推移

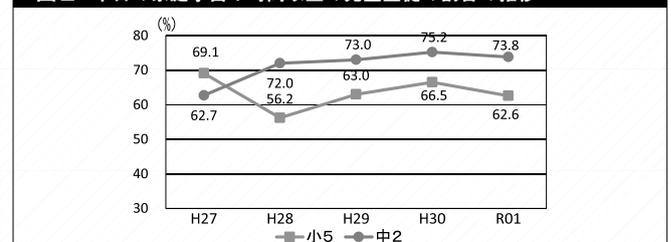


図3 平日にテレビやゲームを、1日に3時間以上見ている児童生徒の割合の推移

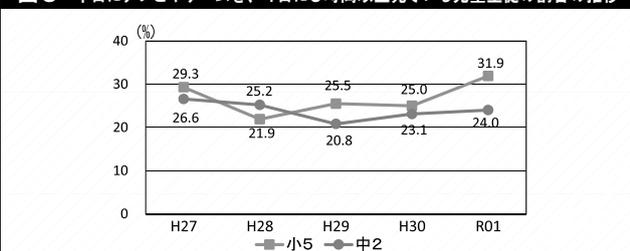
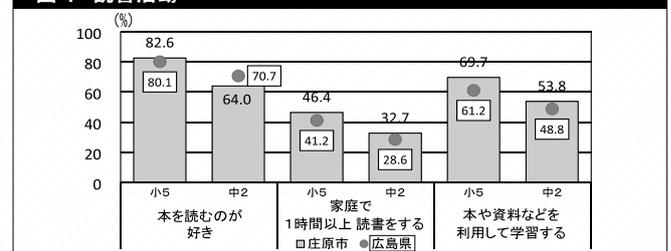


図4 読書活動



※数値は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と肯定的に回答している割合

図1のとおり、自分で勉強の計画を立てたり、授業の予習・復習をしている割合は、すべて県平均を大きく上回っています。また、図2のとおり、家庭で1日1時間以上勉強する割合は、昨年度に比べて若干減少しています。

図3のとおり、テレビやゲームの視聴時間は、小・中学生とも、昨年度に比べて増加しています。家庭においても、ルールをつくるなどテレビやゲームの視聴時間が減少するような意識付けが必要です。

図4のとおり、小・中学生とも、家庭での読書時間、本や資料などを利用して学習することについて、県平均を上回っています。読書好きな児童生徒がさらに増えるよう、家庭においても一緒に読書をする取り組みなどが大切です。

市教育委員会では、児童生徒の望ましい生活習慣の定着と学力の向上に向け、家庭・学校・地域が連携した取り組みを進めていきます。